

1. 追加地盤調査及び調査フロー

追加調査及び判断事項

- ①反射法地震探査(現地作業、データ解析)
 - ・調査地全域の地質状況概略把握
 - 大阪層群と神戸層群の境界
 - 地質不整合箇所での地質推定
 - 反射法地震探査での異常箇所把握他
 - ・断層位置の概略把握
 - 坊島断層、国道171号断層、構造線の南線、小野原断層の位置、傾斜他
 - ・ボーリング後の再評価
 - ボーリング後、ボーリング結果との対比による再解析で、全体構造を再評価他
- ②既存調査整理評価
 - ・地質状況の概略把握
 - 大阪層群の性状、神戸層群の性状把握
 - 地下水状況
 - ピート層の性状把握(既存試料の状態等による)
- ③ボーリング調査(現地作業、データ解析)
 - ・地質状況の詳細把握
 - 大阪層群と神戸層群の境界・傾斜の特定
 - 大阪層群内の層序、神戸層群内の層序、地質不整合箇所での地質把握
 - 反射法地震探査異常箇所での地質状況把握
 - ピート層の分布、地下水状況他
 - ・断層位置の把握
 - 坊島断層、国道171号断層、構造線の南線、小野原断層の位置、傾斜、破碎幅、破碎状況の把握
- ④室内試験(試験、データ整理)
 - ・土質物性値の把握
 - ・ピート層の性状把握
 - ・年代分析(花粉分析)

